

工学部学術情報基盤センター 利用手引き

— 平成 30 年 版 —



工学部 学術情報基盤センター

目次

1	はじめに.....	1
2	センターパソコンのアプリケーション.....	1
2.1	利用可能なソフトウェア.....	1
2.2	教育用 UNIX サーバの使い方..... エラー! ブックマークが定義されていません。	
3	センターメールの利用説明.....	4
3.1	工学部教職員ハイブリッドメールシステムの使い方.....	4
3.1.1	はじめに.....	4
3.1.2	Google Apps.....	4
3.1.2.1	ウェブメール.....	4
3.1.2.2	2段階認証プロセスの概要.....	7
3.1.2.3	2段階認証プロセスの利用者確認の操作.....	8
3.1.2.4	メールクライアントの設定パラメータ(GoogleApps).....	12
3.1.2.5	メールクライアントの IMAP 接続の設定例(Google Apps).....	13
3.1.2.6	スマートフォン・タブレット端末からの接続例 (GMail 接続).....	21
3.1.3	メーラーからのアドレス帳のウェブメールへのインポートエラー! ブックマークが定義されていません。	
3.1.3.1	アドレス帳のエクスポートエラー! ブックマークが定義されていません。	
3.1.3.2	センターメールへのインポートエラー! ブックマークが定義されていません。	
3.1.3.3	Google Apps へのインポートエラー! ブックマークが定義されていません。	
4	研究室向けのサービス提供.....	24
4.1	山形大学教育用ネットワーク.....	24
4.1.1	無線 LAN サービス「YUNET_EDU」.....	24
4.1.2	大学間無線 LAN ローミングサービス「eduroam」.....	24
4.2	仮想化 LAN(VLAN)利用サービスについて.....	25
4.2.1	サービス内容.....	25
4.2.2	サービス利用方法.....	25
4.2.3	接続可能な VLAN スイッチ.....	25
4.2.4	VLAN スイッチの標準的な VLAN 構成 (暫定).....	26
4.2.5	VLAN スイッチへの接続方法.....	26
4.3	研究室利用アプリケーション.....	27
4.3.1	計算化学統合プラットフォーム SCIGRESS(サイグレス).....	27

4.3.2	技術・科学ソフトウェア Mathematica.....	27
4.4	山形大学工学部／大学院理工学研究科 DreamSpark Premium 利用ガイド.....	28
4.4.1	はじめに.....	28
4.4.2	主な注意点.....	28
4.4.3	利用方法.....	28
4.4.4	DreamSpark ソフトウェアセンター.....	29
4.4.5	Windows Client.....	29
4.4.6	リソース.....	30
4.4.7	その他.....	30
5	学外からのリモート接続の利用説明.....	31
5.1	はじめに.....	31
5.2	利用可能な OS とウェブブラウザ.....	31
5.3	利用申請.....	31
5.4	Windows 7, 8, 8.1 のよる SSL-VPN 接続.....	31
5.4.1	事前設定.....	31
5.4.2	接続方法.....	31
5.5	Windows 8, 8.1 RT による SSL-VPN 接続.....	34
5.6	Macintosh による SSL-VPN 接続.....	35
5.7	Android による SSL-VPN 接続.....	35
5.8	iPad, iPhone による SSL-VPN 接続.....	36
6	外部サービスの利用説明.....	37
6.1	学認対応大学間連携グループ情報共有サービス.....	37
6.2	Office365 サービスの試験利用開始.....	37
7	工学部学術情報基盤センターの利用説明.....	38
7.1	大判プリンター.....	38

1 はじめに

2 センターパソコンのアプリケーション

2.1 利用可能なソフトウェア

ソフトウェア名称	分類
Office Professional Plus 2010 64bit	
IE 9	
Firefox 4.0	
RealPlayer 14.0	
QuickTimePlayer 7.6.9	
Windows Media Player 11	
Silverlight 4	
Adobe Flash Player 10.2.153.1	
Adobe Reader 10.0.1	
CubePDF 0.9.3.1b	
PDForsell 2.0	
かんたん PDF EDIT 1.0	
Photoshop Element 9	
OpenCV 2.2	
サクラエディタ 1.6.6.0	
MKEditor 3.9.9-J	
Teraterm 4.69	
FFFTP 1.97b	
WinSCP 4.3.2	
dvipsk	
WinShell 3.3.2.4	
AFPL Ghostscript 9.0.2	
GSView4.9	
JW-CAD 7.04a	2次元汎用CAD
AlibreDesign 2011	
gnuplot 4.4.3	
GRAPES 6.77	

FunctionView 5.71	
GC/Win 2.0.7	
Visual Studio 2010 Professional	
gnupack 6.00	
Cygwin/X	
net/openssh	
Java2SE 6 update 24	
Eclipse 3.6.2	
R 2.12.2	
R Commander 1.6	
Python 2.7.1	
Active Perl 5.12.3	
Ruby 1.8.7	
Scala 2.8.1	
octave 3.4.0	
MaTX 5.3.43	
Scilab 5.3.1	
Crystal Reports 11	
POV-Ray 3.6.2	
Accelrys Draw 4.0	
Mathematica 9.0.1	
SCIGRESS	
ホームページビルダー15	
ASTEC-X 7.0	
図脳 RAPID 16	
ADINA 8.6	
ODE 0.11.1	
OCTA 2010	
Winmostar 3.806w	
Borland C++ 5.5.1	
Renesas C/C++ compiler package V.7.00 Release 00	
Renesas Flash Development Toolkit v4.08 Release 02	
LTspice iv Version 4.15l	

Altera Quartus II web edition(Free)	
Altera University Program	
Varsity eBooks 電子書籍用リーダー (生協)	
wavesurfer	
formant 合成プログラム	
Android SDK	

3 メールの利用説明

3.1 工学部教職員用メールシステムの使い方

3.1.1 はじめに

工学部教職員向けに提供しているメールサービスは、Google が提供する **Google Apps** である。

3.1.2 Google Apps

3.1.2.1 ウェブメール

Google Apps では、本学のアカウントですべての Google サービスを利用できます。Google Apps に本学が提供する教職員アカウントでログインする際は、Gmail アカウント（例：xxxxx@gmail.com）と同様のログイン方法になっております。ウェブブラウザを立ち上げ、ウェブブラウザのアドレスバーに、<http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/mail/>を入力して、接続してください。図 3-2 に示すような工学部教職員用メールシステムのフロントページが表示されたら、お気に入りに追加してください。

または、通常の Gmail ログインページからログインできます。

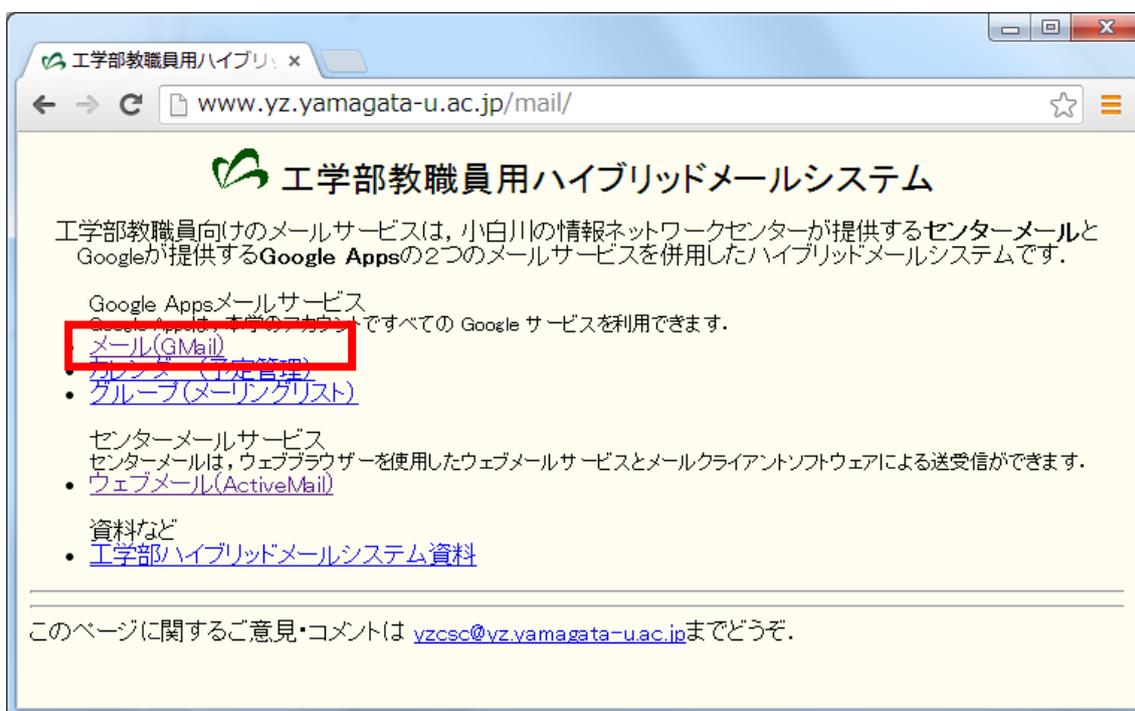


図 3-2 工学部教職員用メールシステムのフロントページ

初めて Google Apps を使用する場合、図 3-に示すような新しいアカウントへようこそそのページが表示されます。Google の利用規約を読み、一番下までスクロールすると、図 3-に示すような Google Apps の利用者認証用の CAPTCHA (キャプチャ) 画面が表示されます。CAPTCHA 文字列をテキストボックスに入力して、「同意します。続けてアカウントに移動します。」をクリックします。図 3-に示すような Google Apps のメールの作成・受信画面が表示されます。



図 3-4 Google Apps の新しいアカウントへようこそそのページ



図 3-5 Google Apps の利用者認証用 CAPTCHA (キャプチャ) 画面



図 3-6 Google Apps のメールの作成・受信の画面

3.1.2.2 2段階認証プロセスの概要

2段階認証プロセスを使用すると、Google アカウントのセキュリティがさらに強化されるため、アカウントの個人情報を他人に盗まれる可能性が大幅に減少します。図 3-に2段階認証プロセスの概要を示す。

利用者は、Google にログインするたびに、通常どおりユーザ名とパスワードを入力します。2段階認証プロセスでは、利用者確認のために電話番号を入力します。電話によって利用者に確認コードが通知されます。通知された確認コードをウェブブラウザより入力することで利用者の確認が完了します。利用者の確認が完了すると、アプリケーション固有のパスワードの生成が可能になります。利用者はウェブブラウザを用いてアプリケーション固有のパスワードの生成要求を行います。生成要求を受けて Google Apps がアプリケーション固有のパスワードを生成し、ウェブブラウザ上で表示します。アプリケーション固有のパスワードを使用して、パソコンや Android 端末などのメールアプリケーションのユーザ認証設定を行います。もし、Android 端末やノートパソコンを紛失した場合、ウェブブラウザを用いてログインし、生成したアプリケーション固有のパスワードを無効化します。

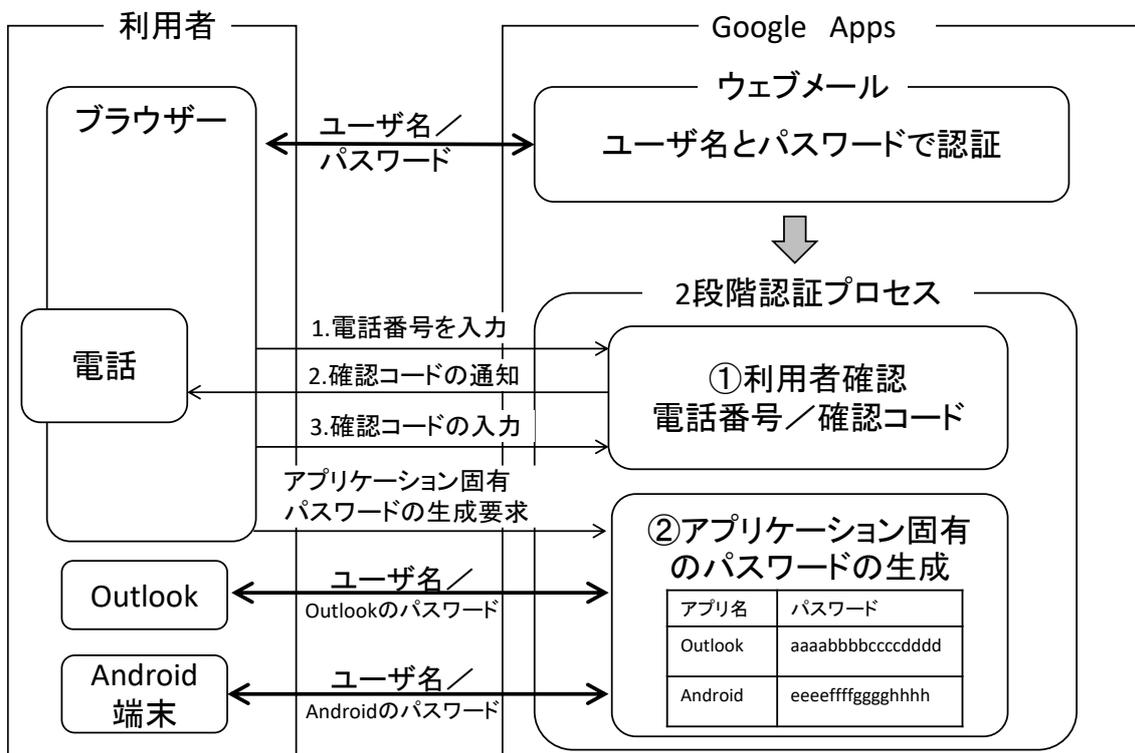


図 3-7 2段階認証プロセスの概要

3.1.2.3 2段階認証プロセスの利用者確認の操作

- ① 図1に示すように、メール画面の右上の■をクリックし、「Google アカウント」をクリックする。

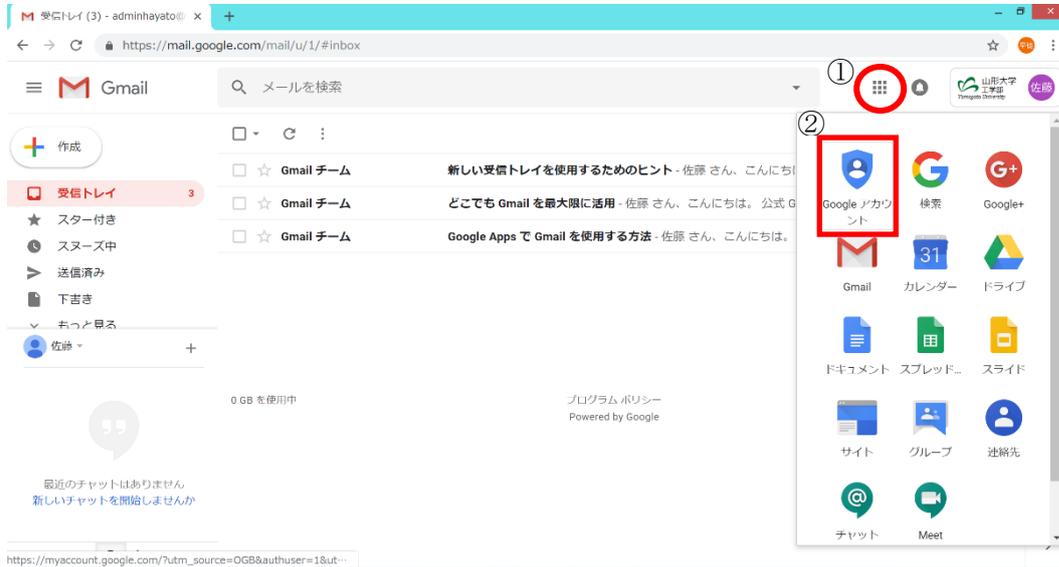


図1 Google Apps のアカウントの設定への移動

- ② 図2に示すように、「セキュリティ」タブを選択し、「2段階認証プロセス」をクリックする。



図2 アカウントのセキュリティの画面

③ 図3に示すように、2段階認証プロセスの「開始」をクリックする。

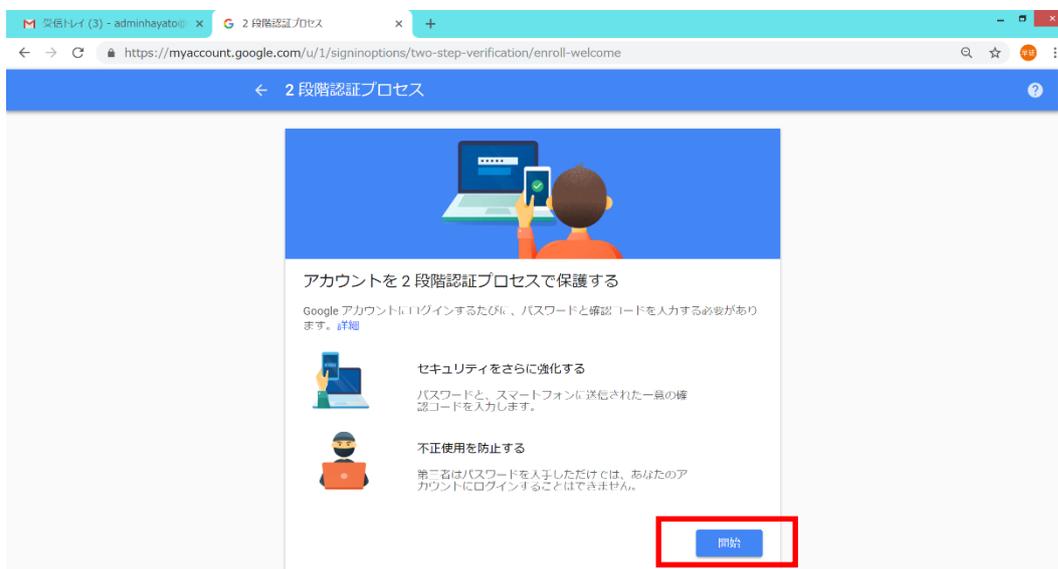


図3 2段階認証プロセスでのログイン開始画面

④ 図4に示すように、音声通話のラジオボタンをONにし、利用者確認のためのコードを送信する電話番号を入力する。さらに、「次へ」をクリックする。電話番号は携帯電話でも大学の固定電話でも大丈夫です。

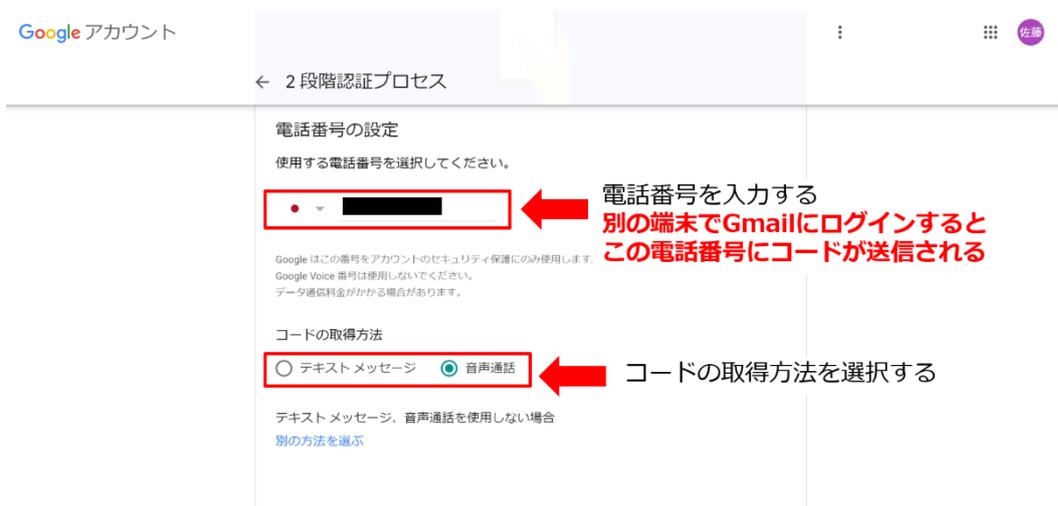


図4 利用者確認のためコードを送信する電話番号の設定

- ⑤ 図5に示すような画面になります。さらに、登録した番号にショートメッセージが送信されます。メールには確認コードが書いてあるので、ウェブ画面に確認コードを入力し、「次へ」をクリックします。



図5 確認コードの入力画面

- ⑥ 図6に示すような2段階認証プロセスの有効化の画面が表示されたら「オンにする」をクリックする。



図6 2段階認証プロセスの有効化の画面

⑦ 図7に示すような画面が表示されたら 2段階認証の利用者認証が完了である。別の端末で Google にログインすると、矢印で示す登録された電話番号に確認コードが送信される。

← 2段階認証プロセス



図7 2段階認証プロセスの利用者認証が完了した画面

3.1.2.4 メールクライアントの設定パラメータ(GoogleApps)

表 1 に、Google Apps 使用時のメールクライアントソフトの設定情報を示します。

表 1 Google Apps 使用時のメールクライアントソフトの設定情報

SMTP サーバ	smtp.gmail.com (ポート番号：587)
SMTP 暗号化	有効(TLS)
IMAP サーバ	imap.gmail.com (ポート番号：993)
IMAP 暗号化	有効(SSL)
POP サーバ	pop.gmail.com (ポート番号：995)
POP 暗号化	有効(SSL)
ユーザ名	電子メールアドレス (例 centaro@yz.yamagata-u.ac.jp)
パスワード	2段階認証プロセスで発行されたアプリケーション固有のパスワード

3.1.2.5 メールクライアントの IMAP 接続の設定例(Google Apps)

- ① 3.1.2.3 節で説明した 2 段階認証プロセスの利用者確認を完了してください。一度利用者確認が完了している場合,
 1. 画面右上に表示されるユーザ名または画像をクリックしてから「アカウント」をクリックして、Google アカウントの設定ページにログインします。
 2. 画面上部にある「ログインとセキュリティ」をクリックします。
 3. 「2 段階認証プロセス」の下にある「アプリパスワード」をクリックします。
- ② 図 3-15 に示すように、アプリケーション固有のパスワードの生成を行います。

「アプリパスワードを生成するアプリと端末を選んでください」プルダウンし、任意のアプリケーション固有の名前を選択します。例えば、「メール」「Windows パソコン」と選択します。「生成」ボタンをクリックします。
- ③ 生成されたアプリケーション固有のパスワードは、図 3-15 のように表示されます。メールクライアントの設定が終わるまで、「完了」ボタンはクリックしないこと (③の操作まで終わったら、メールクライアントの設定が完了します。)



図 3-15 2 段階認証のアプリケーション固有のパスワードの生成

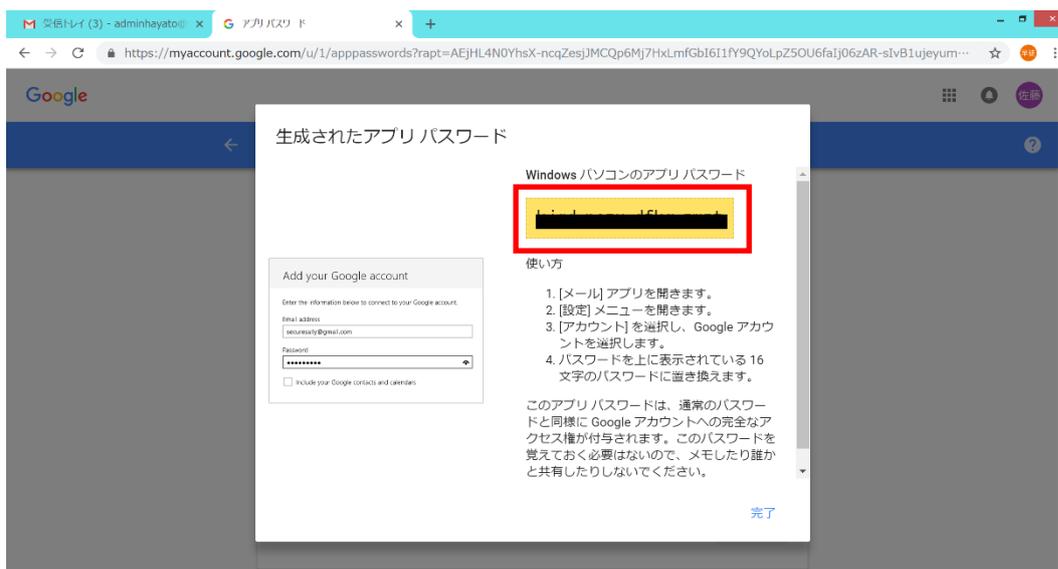


図 3-16 アプリケーション固有のパスワードの生成画面

- ④ Outlook 2013 を起動します, Outlook 2013 を初めて起動すると, 自動的に 図 3-に示すような[スタートアップウィザード] が起動します. 「次へ」をクリックすると, 図 3-に示すような電子メールアカウントの追加画面が表示されます. 「次へ」をクリックします.



図 3-17 Outlook 2013 のスタートアップウィザード

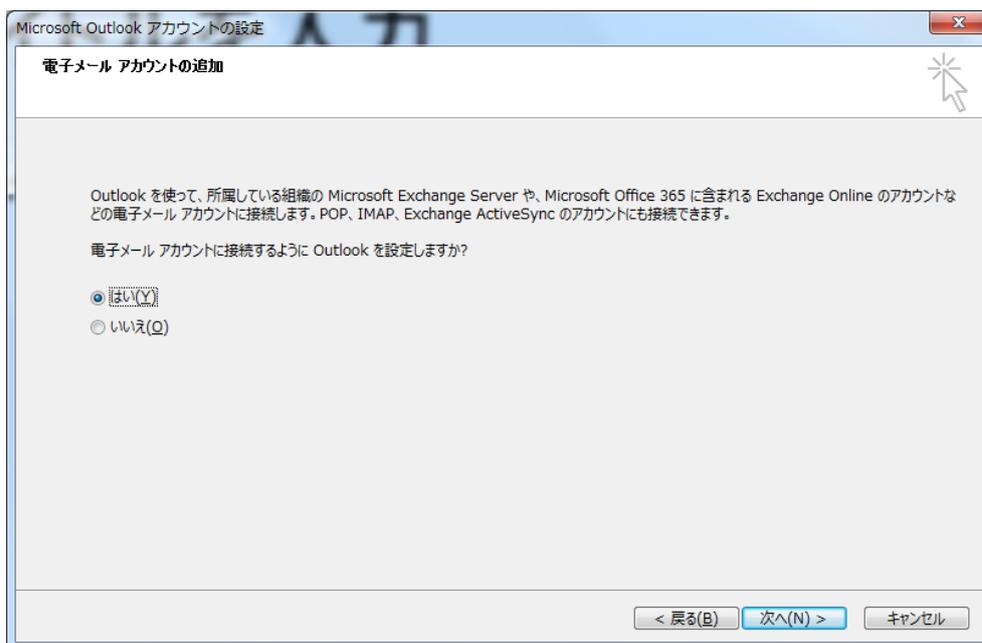


図 3-18 スタートアップウィザードの電子メールアカウントの追加画面

※ [スタートアップウィザード] は、初めて Outlook を起動した場合のみ表示されます。スタートアップが始まらない場合は、以下の方法で画面を開いてください。メニューバーの [ファイル] → [アカウントの追加] の順にクリックします (図 3-)。

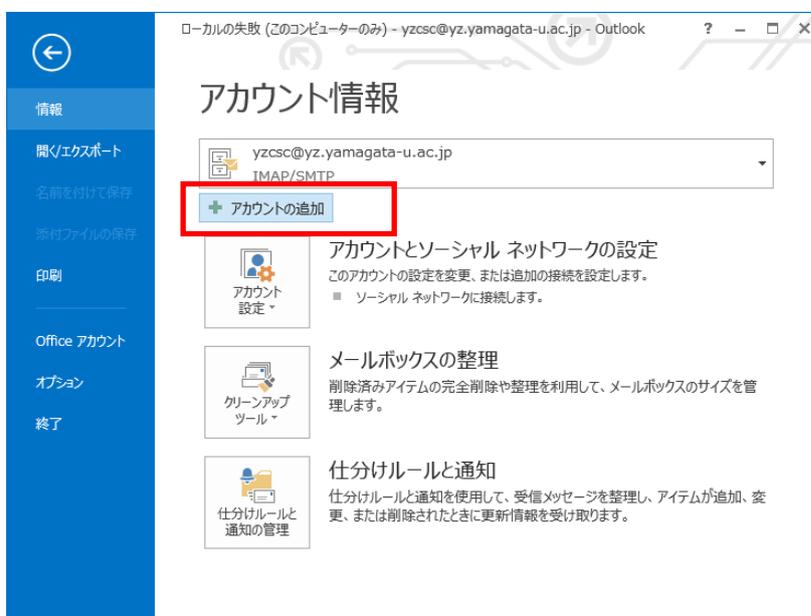


図 3-19 アカウントの追加の画面

- ⑤ 図 3- に示すようなアカウントの追加ウィザードが表示され、「自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする（手動設定）」のラジオボタンを ON にして、「次へ」をクリックする。

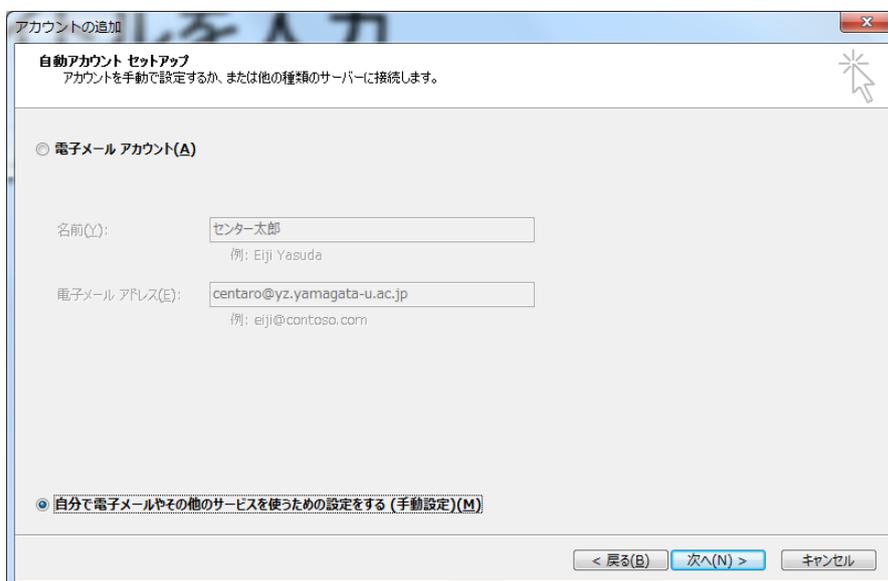


図 3-20 アカウントの追加ウィザード

- ⑥ 図 3- に示すようなサービスの選択画面が表示されたら、「POP または IMAP」のラジオボタンを ON にして、「次へ」をクリックする。
- ⑦ 図 3- に示すように POP と IMAP のアカウントの設定を入力します。アカウント名が電子メールアドレスであり、パスワードはアプリケーション固有のパスワードになります。アカウントの設定を入力したら、「詳細設定」をクリックします。

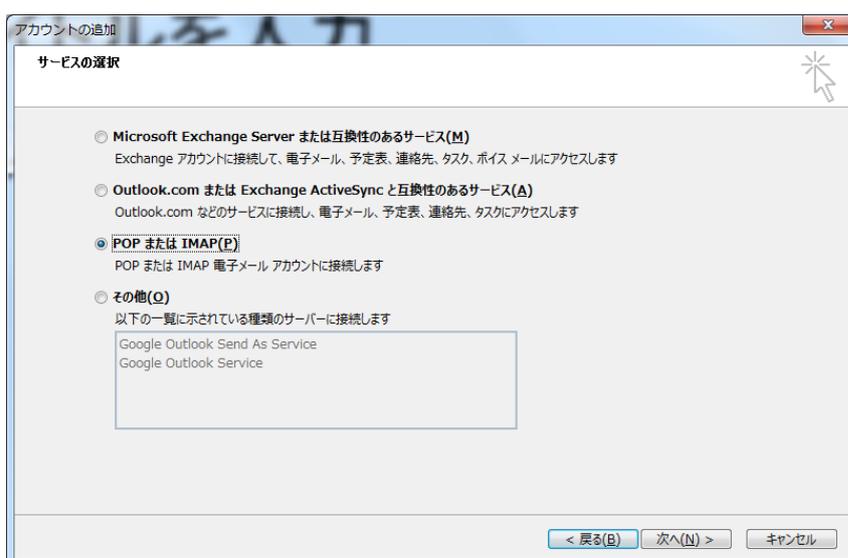


図 3-21 サービスの選択画面

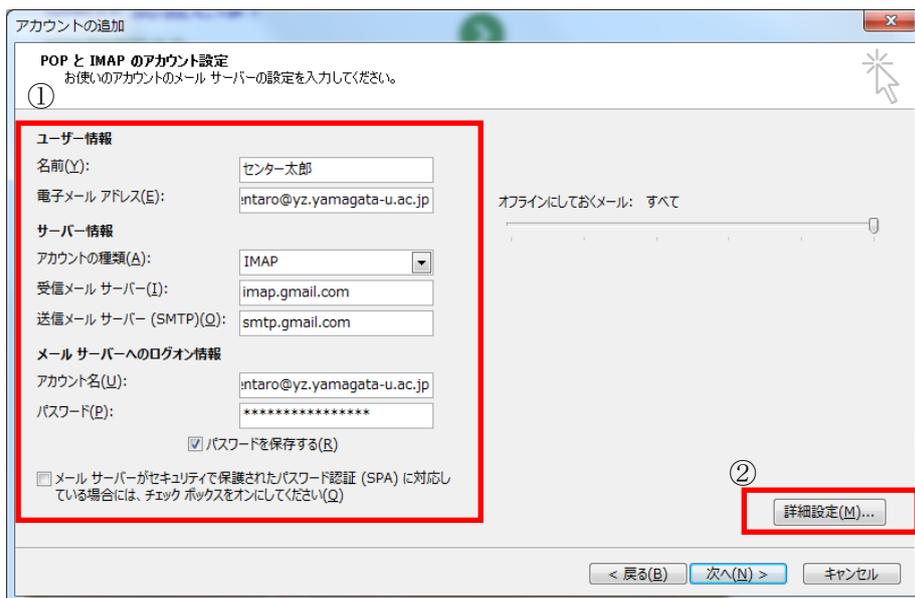


図 3-22 POP と IMAP のアカウント設定の画面

⑧ 図 3-に示すようなインターネット電子メールの設定画面が表示されます。「送信サーバ」タブをクリックして、「送信サーバ (SMTP) は認証が必要」のチェックボックスをチェックします。次に、「詳細設定」タブをクリックして、受信サーバ(IMAP)を 993, 使用する暗号化接続の種類を SSL に, 送信サーバ(SMTP)を 587, 使用する暗号化接続の種類を TLS にします。最後に「OK」をクリックします。

⑨ 図 3-に示すような POP と IMAP のアカウントの設定画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。

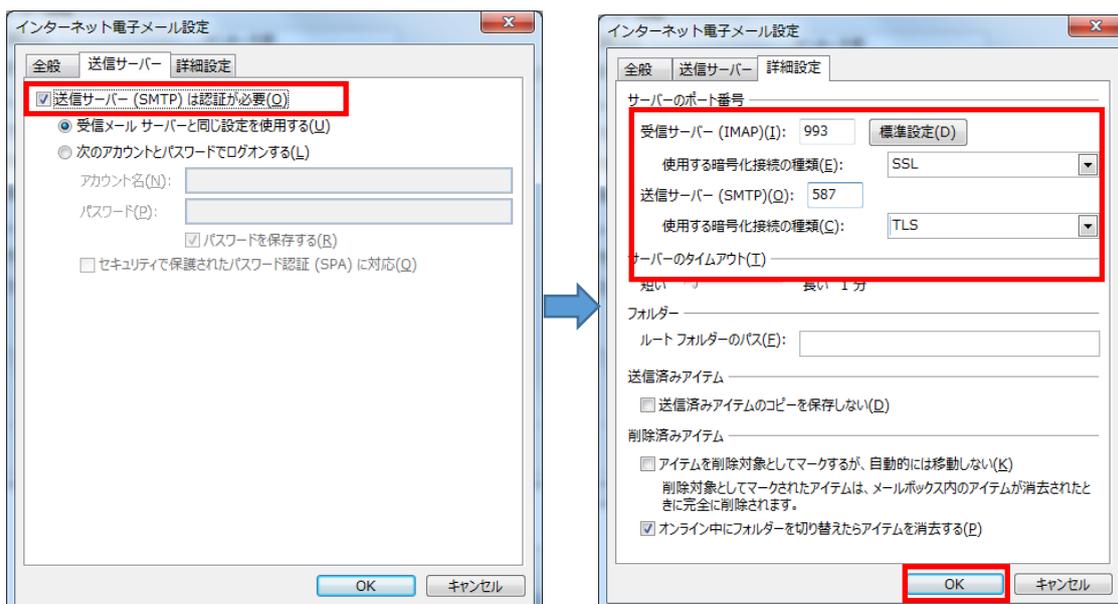


図 3-23 インターネット電子メールの送信サーバの設定画面

アカウントの追加

POP と IMAP のアカウント設定
お使いのアカウントのメール サーバーの設定を入力してください。

ユーザー情報
名前(N): センター太郎
電子メール アドレス(E): intaro@yz.yamagata-u.ac.jp
オフラインにしておくメール: すべて

サーバー情報
アカウントの種類(A): IMAP
受信メール サーバー(I): imap.gmail.com
送信メール サーバー (SMTP)(Q): smtp.gmail.com

メール サーバーへのログイン情報
アカウント名(U): intaro@yz.yamagata-u.ac.jp
パスワード(P): *****
 パスワードを保存する(S)

メール サーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェック ボックスをオンにしてください(Q)

詳細設定(M)...

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

図 3-24 POP と IMAP のアカウント設定の画面

- ⑩ 図 3- に示すようなテストアカウントの設定ウィザードが表示され、状況のカラムが完了となっていることを確認して、「閉じる」をクリックします。完了が表示されない場合、「中止」をクリックして、再度⑨からのアカウントの設定を確認してください。
- ⑪ 図 3- に示すような「すべて完了しました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックしてください。

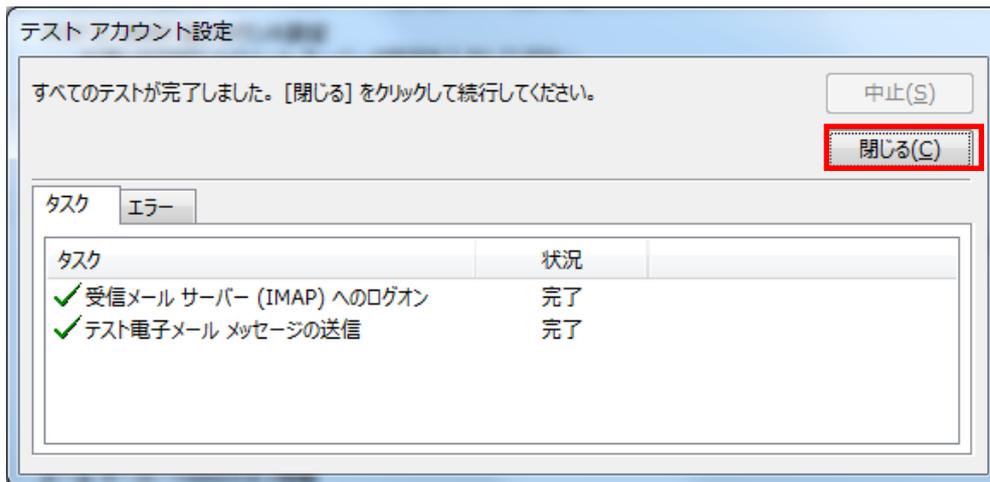


図 3-25 テストアカウントの設定ウィザードの画面

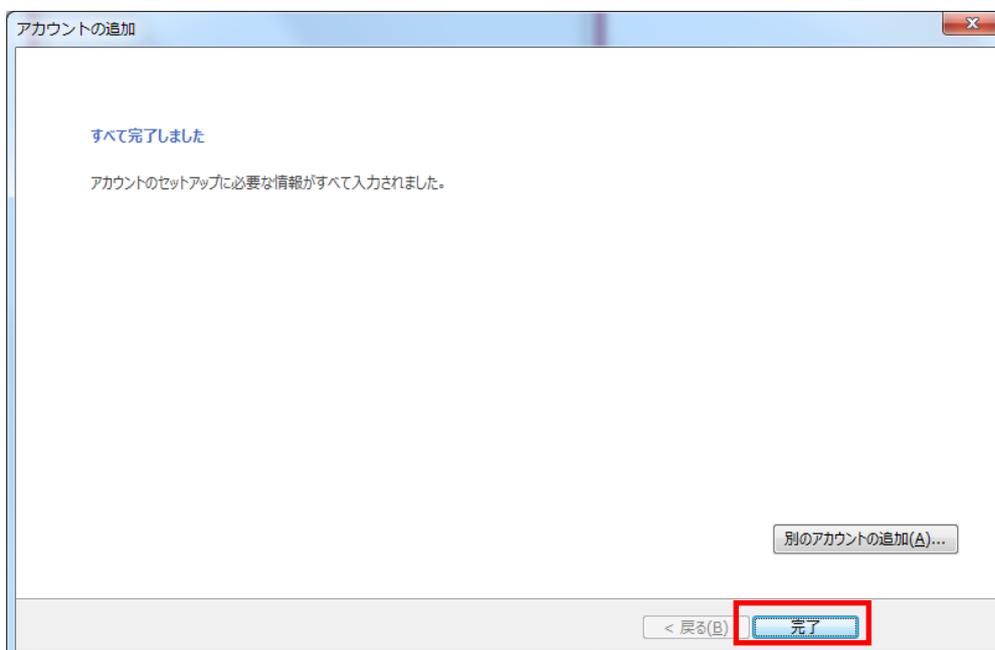


図 3-26 アカウントの追加がすべて完了した画面

- ⑫ 図 3- に示すような Outlook の画面が表示されたらメールクライアントの設定が完了です。
- ⑬ エラー! 参照元が見つかりません。ウェブブラウザのアプリケーション固有のパスワードの生成画面に戻り、「完了」ボタンをクリックします。以上で、すべての操作が完了となります。

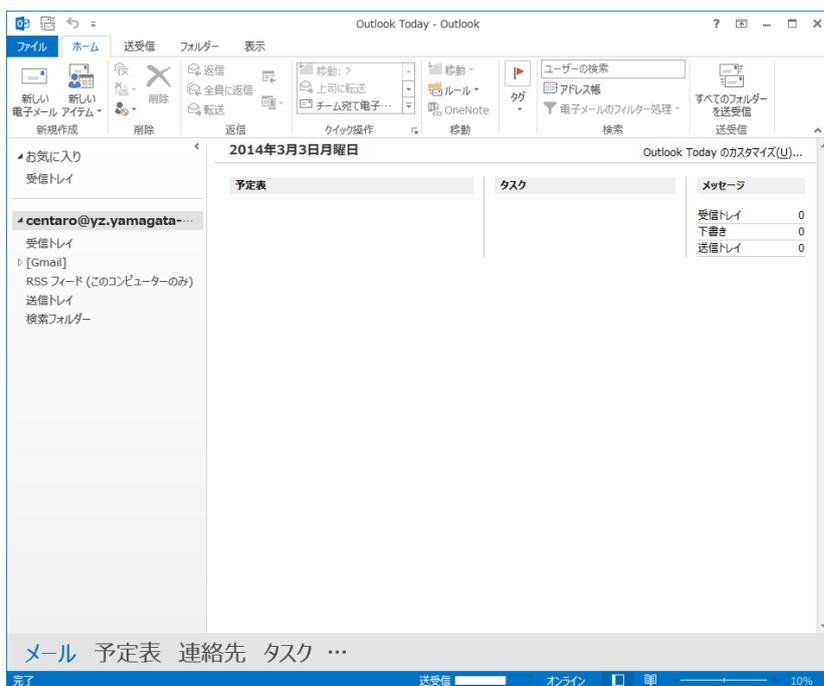


図 3-27 Outlook の利用開始画面



図 3-28 アプリケーション固有のパスワードの生成画面

3.1.2.6 スマートフォン・タブレット端末からの接続例（GMail 接続）

- ① 3.1.2.5 の①～⑤までの操作を行って、タブレット端末用のアプリケーション固有のパスワードを生成してください（図 3-1）。
- ② 図 3-2 に示すような Android 端末の設定画面を表示し、「アカウントの追加」をタップ、「Google」をタップします。



図 3-1 アプリケーション固有のパスワードの生成画面

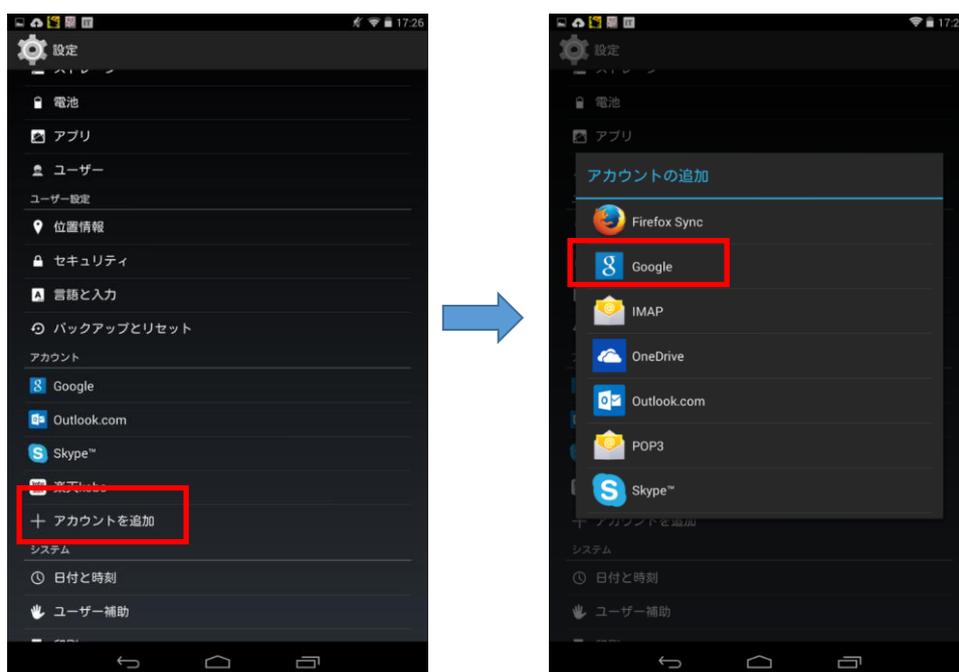


図 3-2 Android 端末の設定画面

- ③ 図 3-3 に示すように、Google アカウントを追加では、「既存のアカウント」をタップし、ログインでは、電子メールアドレスとアプリケーション固有のパスワードを入力します。「▶」をタップします。
- ④ 図 3-4 に示すような Google の利用規約とプライバシーポリシーの同意画面が表示されたら、「OK」をタップします。



図 3-3 Android 端末の Google アカウントの追加とログインの画面



図 3-4 Google の利用規約とプライバシーポリシーの同意画面

- ⑤ 図 3-5 に示すような Google+ と Google サービスの設定画面が表示されます。
 Google+へのアップグレード画面では、「今は設定しない」をタップ、
 Google サービスでは、「▶」をタップ、
 アカウントにログインしましたでは、「▶」をタップします。
- ⑥ 設定画面に戻ったら、ホームボタンをタップします。
- ⑦ メール アプリを起動すると図 3-6 の左のような画面が表示されます。また、Android 端末はマルチアカウントに対応しているため、アカウント切り替えて利用できます。

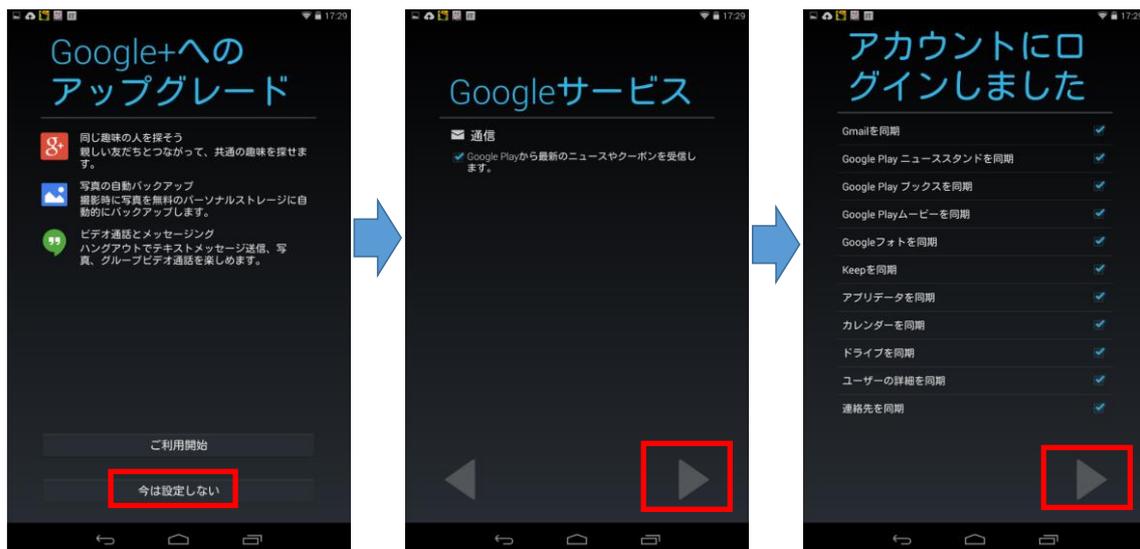


図 3-5 Google+, Google サービスの設定



図 3-6 メール アプリの画面 (左) とマルチアカウントの切替画面 (右)

4 研究室向けのサービス提供

4.1 山形大学教育用ネットワーク

4.1.1 無線 LAN サービス「YUNET_EDU」

学内ネットワークに接続できます。



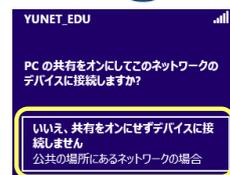
Wi-Fiのご利用について

ワイユー ネット イーディーユー

ESSID: YUNET_EDU

接続キー: wlan@yamagata

ご利用には、ブラウザによるウェブ認証が必要となります。
OSがWindows 8の場合、「共有のオン/オフ（ネットワーク共有）の設定」でPCの共有をオフ（公共の場所にあるネットワークの場合）にする必要があります。（注意）トラブルが発生した場合、サービス提供を中止することがあります。



4.1.2 大学間無線 LAN ローミングサービス「eduroam」

学内ネットワークへの接続はできません。

スマートフォン・タブレットはeduroamの使用を推奨します

eduroam（エデュローム）は、いったん設定すると自動で接続されます。

本学の利用者は、

- ・ユーザー名：(情報系センターのアカウント)@(ecsy|yzdn.yz).yamagata-u.ac.jp
例) 工学部： tbc12345@yzdn.yz.yamagata-u.ac.jp
工学部以外： s00m999@ecsy.yamagata-u.ac.jp

・パスワード：情報系センターのアカウントのパスワードとなります。



4.2 仮想化 LAN(VLAN)利用サービスについて

4.2.1 サービス内容

図 4-1 に示すように研究室に設置されている LAN コンセントを VLAN コンセントに変更し、研究室に VLAN スイッチを設置し、VLAN (Virtual LAN;IEEE 802.1Q)技術によって、研究室に複数のネットワーク (内部 LAN,無線 LAN, DMZ1,DMZ0,eduroam) を提供するサービスです。

4.2.2 サービス利用方法

試験運用のため、学術情報基盤センターにご相談ください。VLAN 対応スイッチの購入費用は受益者負担のとなります。ネットワークの安定運用のため、VLAN スイッチは学術情報基盤センターで管理運用します。

4.2.3 接続可能な VLAN スイッチ

・FXC 株式会社製 FXC5210(実売 36,750 円程度(税込) ; 3年センドバック保証;設定込)1,2

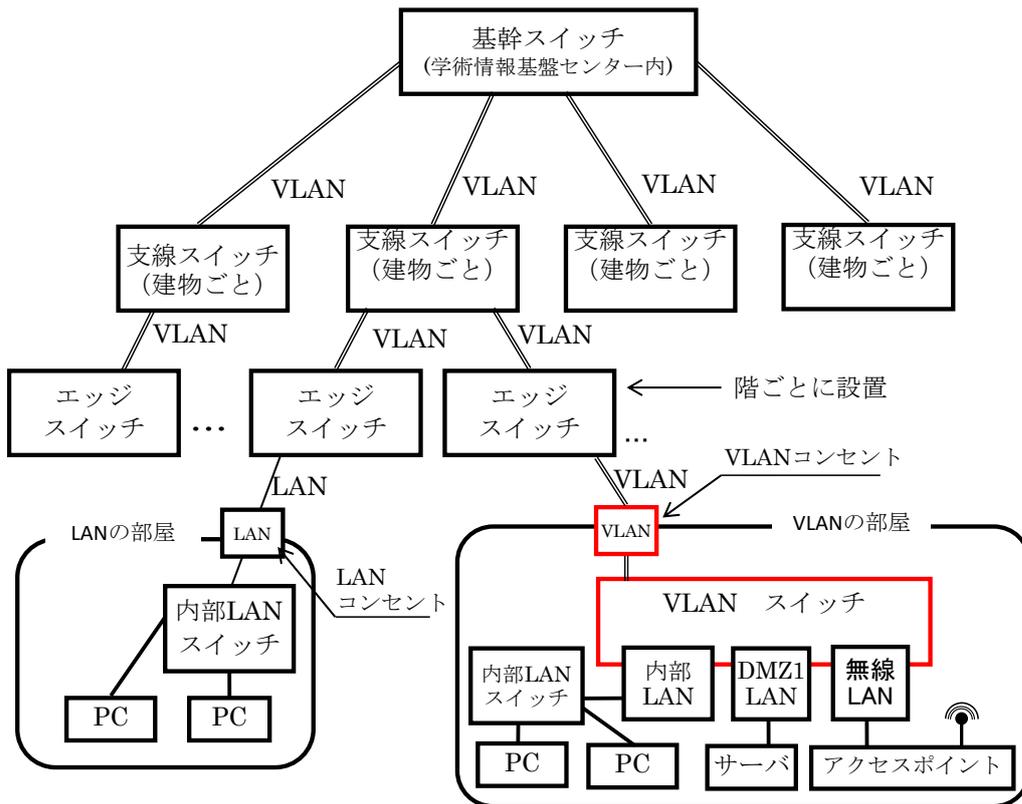


図 4-1 VLAN を利用した研究での LAN 接続の概略

- 1 学生教育のため設定を研究室で行いたい場合は、ご相談ください。
- 2 メーカーのモデルチェンジのため、後継機種に変更することがあります。

4.2.4 VLAN スイッチの標準的な VLAN 構成（暫定）

標準的な VLAN 構成では，研究室の VLAN コンセントに内部 LAN,DMZ1,無線 LAN(eduroam 対応)の 3つの LAN をサポートしています．図 4-2 に示すように VLAN スイッチには，8 つの LAN ポート(RJ-45)が搭載されています．研究室に設置したときは，VLAN コンセントに接続する 8 番ポートと内部 LAN が利用できる 1 番ポートの 2つの有効化されています．DMZ1 や無線 LAN を利用したい場合は，学術情報基盤センターで有効化しますので，連絡してください．また，4つの予備ポートは，DMZ0, 学術情報基盤センター管理下の実習用 PC-LAN などを利用するとき使用する予定です．試験運用の過程で，利用状況を基に今後の標準化を検討しますので，センターまで要望をいただけますようお願いいたします．

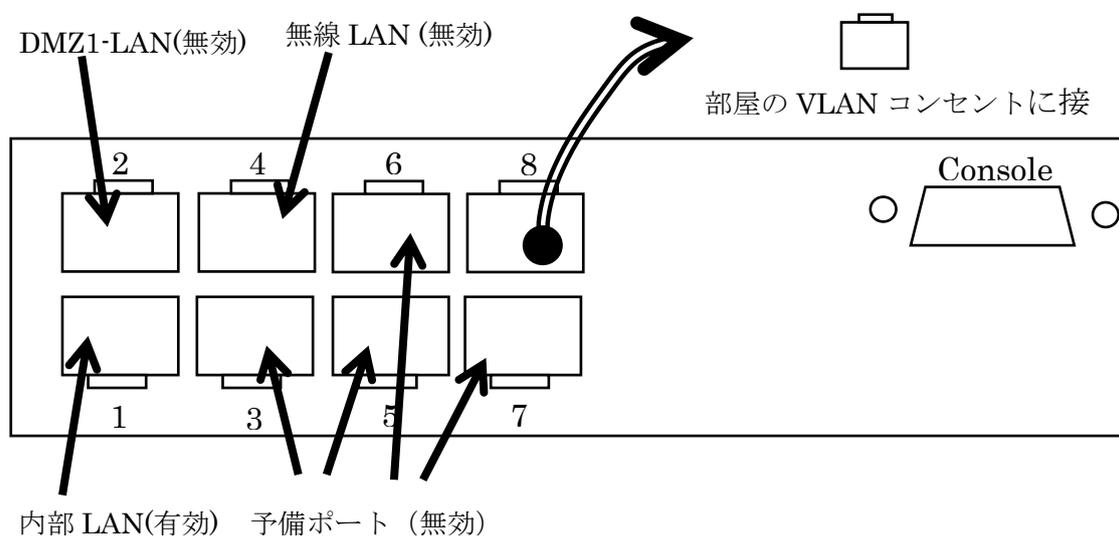


図 4-2 標準的な構成の VLAN スイッチの正面図と各 LAN のポート割当

4.2.5 VLAN スイッチへの接続方法

VLAN スイッチの 8 番ポートと部屋の VLAN コンセントを LAN ケーブル（カテゴリー 5E,6,6A）で接続します．次に，内部 LAN を利用したい場合は，VLAN スイッチの 1 番ポートにパソコンなどを接続します．複数のパソコンで，内部 LAN を利用した場合は，ハブ（スイッチ）などで分岐して利用してください．DMZ1-LAN など利用する場合も，同様に利用したい LAN のポートに接続してください．無線 LAN を利用したい場合は，別途指定のアクセスポイント（受益者負担;42,000 円程度(税込)）が必要になりますので，学術情報基盤センターまでご連絡ください．

4.3 研究室利用アプリケーション

4.3.1 計算化学統合プラットフォーム SCIGRESS(サイグレス)

インストールメディアは、工学部学術情報基盤センターから借りてください。
同時に起動できる数に制限があります。(契約期間: ~ 2017/1/31)
利用しないときは、アプリケーションを終了いただきますようお願いいたします。

4.3.2 技術・科学ソフトウェア Mathematica

工学部、理学部、大学院理工学研究科の教職員、学生は自宅でも利用できます。
関連 URL: <https://dip300.yz.yamagata-u.ac.jp/Software/>

4.4 山形大学工学部／大学院理工学研究科 DreamSpark Premium 利用ガイド

重要

[MICROSOFT DREAMSPARK PREMIUM サブスクリプション契約](#)を必ず読み、内容を理解した上でご利用ください。

利用開始: <https://announce.yz.yamagata-u.ac.jp/DSP/>

4.4.1 はじめに

工学部学術情報基盤センターでは、教育機関向けの DreamSpark Premium（以下、DreamSpark）を契約しています。DreamSpark はマイクロソフトが教育機関向けに行っている有償サービスで、学部・研究科単位でマイクロソフトと契約することで、その学部・研究科に所属する学生・教員全員が、「教育・学習のために」マイクロソフト製品を追加費用なしで利用できるというものです。たとえば Visual Studio 等の開発ツールを無料でインストールすることができます。ただし「教育用」と目的が制限されているため、なんでも提供されているわけではなく、たとえば Microsoft Office は提供されていません。また「教育用」であるため基本的には一製品一人当たり一回のみのインストールが許可されます。

4.4.2 主な注意点

主な注意点は

1. 利用のガイドラインは [DreamSpark Premium 利用ガイドライン](#)をご覧ください。
2. 教育目的のみに利用できます。研究・開発用には使用できません。
3. Office ソフトウェアは提供されません。
4. Windows オペレーティングシステムは、受講する授業の学習に必要なアプリケーションを利用するために使用できます。単に無料で使えるライセンスを提供しているわけではありません。
5. 基本的には一つの製品は一人一回のみインストールできます。PC の故障等の場合は対応可能ですので担当者にお問い合わせください。

4.4.3 利用方法

実際には後述する DreamSpark ソフトウェアセンターからソフトウェアをダウンロードしてご利用ください。ダウンロードに時間がかかる等の場合には CD の貸し出しも可能ですので担当者までお問い合わせください。必要なソフトウェアがソフトウェアセンターに見つからない場合は CD・DVD で提供が可能です。DreamSpark で提供されているソフト

ウェアかどうかを下記のリソースに示したリンクから確認のうえ、担当者までお問い合わせください。

研究室所有のコンピュータに DreamSpark で提供されるソフトウェアをインストールする場合には、別途 CD の貸し出し・ライセンスの発行を行いますので学術情報基盤センターまでお問い合わせください。

4.4.4 DreamSpark ソフトウェアセンター

DreamSpark で提供されるソフトウェアのダウンロードとライセンスの発行をおこないます。

- [工学部\(学部学生\)はこちらから](#)
- [大学院理工学研究科\(大学院生\)はこちらから](#)
- [教員の方ははこちらから](#)
- ※学術情報基盤センターの ID・パスワードが必要です。
- Internet Explorer の利用を推奨します。

※登録間違いなどで、ご利用いただけないことがありましたら、学術情報基盤センターまで、問い合わせください。

※ELMS 校内認証統合を行っています。 [詳細はこちら](#)。

4.4.5 Windows Client

DreamSpark Premium に含まれる Windows Client OS は以下の点にご注意ください。 DreamSpark Premium の対象となる学部または研究室が管理する PC で、かつ、その学部または研究室に常設されている PC にのみインストールすることができます。 使用用途は次の 3 点に限られます。

- 理工系の授業や研究をするため
- 理工系の授業や研究に係るソフトウェア プログラムを設計、開発、テスト、デモをするため
- 理工系の授業や研究に係る非商業的な研究のため

授業や研究を目的とした Web 検索やメールの利用、レポートの執筆は可能ですが、個人的なメールや Web サイトの閲覧、文章の執筆にはご利用いただけません。所属する学生や教職員が個人的に所有している PC であっても、上記の条件を満たし、かつ、ライセンス認証されている Windows Client OS であれば、OS のバージョンアップとしてご利用いただくことは可能です。

4.4.6 リソース

- [教育機関向け DreamSpark 利用ガイドライン](http://www.microsoft.com/ja-jp/education/dreamspark-institutions.aspx), <http://www.microsoft.com/ja-jp/education/dreamspark-institutions.aspx> (参照: 2014-2-5)
- [DreamSpark | アカデミックポータル](http://www.microsoft.com/ja-jp/education/dreamspark.aspx), <http://www.microsoft.com/ja-jp/education/dreamspark.aspx> (参照: 2014-2-5)
- [DreamSpark Premium 利用ガイドライン](https://www.dreamspark.com/Institution/DSP-Usage-Guidelines.aspx), <https://www.dreamspark.com/Institution/DSP-Usage-Guidelines.aspx> (参照: 2014-2-5)
- [MICROSOFT DREAMSPARK PREMIUM サブスクリプション契約](https://www.dreamspark.com/Institution/DSP-EULA.aspx), <https://www.dreamspark.com/Institution/DSP-EULA.aspx> (参照: 2014-2-5)
- [DreamSpark FAQ](https://www.dreamspark.com/Support/FAQ/Default.aspx), <https://www.dreamspark.com/Support/FAQ/Default.aspx> (参照: 2014-2-5)
- [利用できるソフトウェア群](https://www.dreamspark.com/Institution/Subscription.aspx), <https://www.dreamspark.com/Institution/Subscription.aspx> (参照: 2014-2-5)
- [利用できるソフトウェアの一覧](http://aka.ms/dsproductlist), <http://aka.ms/dsproductlist> (参照: 2014-2-5)
(DreamSpark & Designer AA シートの DreamSpark Premium にチェックが記述されているソフトウェアが該当します)

4.4.7 その他

工学部／大学院理工学研究科の DreamSpark Premium の利用についてのお問い合わせは、学生番号・氏名を明記の上(スパムと区別するため)下記の担当者までお願いいたします。

- 工学部学術情報基盤センター(tomohiro_ito@ieee.org) 内線 3573 または 3021

5 学外からのリモート接続の利用説明

5.1 はじめに

工学部学術情報基盤センターでは、自宅や出張先などの学外から学内ネットワークに接続できる SSL-VPN 接続サービスを試験的に提供しています。試験サービスのため、OS 毎のサポートが十分とはいえませんが、ご了承くださいますようお願いいたします。また、マクロウイルス感染等に関する責任は負いかねますのでウイルス等対策は使用者の自己責任でご利用下さい。

5.2 利用可能な OS とウェブブラウザ

利用可能な OS は、Windows, Macintosh, Linux, Android, iOS です。ウェブブラウザは、Internet Explorer または Firefox で利用できます。OS およびブラウザのバージョンやエディションによっては、正常に動作しないことがあります。また、ウイルスチェックソフトウェアの種類によっては、利用できないことがあります。

5.3 利用申請

本サービスを利用するためには、利用申請書の提出が必要です。申請書は、工学部学術情報基盤センターに用意してあります。

<https://spf.yz.yamagata-u.ac.jp/fed/yamagata-u/yz/yzcsc/Shared%20Documents/SSL-VPN/>

5.4 Windows 7, 8, 8.1 のよる SSL-VPN 接続

5.4.1 事前設定

ブラウザの信頼サイトに、下記の URL を登録してください。

<https://vpn2.yz.yamagata-u.ac.jp>

5.4.2 接続方法

① ブラウザーによる VPN 装置への接続

ブラウザを起動して、下記に示す接続用 URL に接続してください。図 5-1 のような認証画面が表示されます。

接続用 URL: <https://vpn2.yz.yamagata-u.ac.jp/>

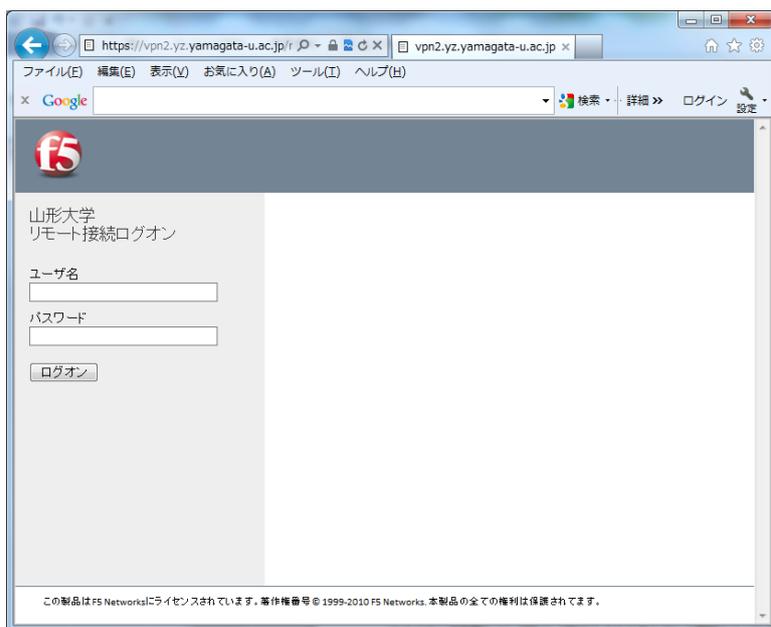


図 5-1 SSL-VPN によるリモート接続の認証画面

② 認証情報の入力

学術情報基盤センターから配布されたアカウントのユーザ名とパスワードを入力して「ログオン」をクリックしてください。

③ 接続用ツールのダウンロードと信頼警告

リモート接続用のアドオンが自動的にダウンロードされます。このとき、様々な警告が非常されますが、「許可する」や「信頼する」などクリックしていただけますと、専用ツールが自動的に配布・インストールされます³。正常に、インストールが完了すると、図 5-2 に示すような回線種別の選択画面が表示されます⁴。なお、専用ツールの発行元は、「F5 Networks」になります。

④ 回線種別の選択

認証が許可されると、図 5-2 のような画面が表示されます。リモート接続は、通信環境によって、安定性が変化します。特に、携帯電話など移動体通信の場合、「低速回線」を選択していただけますと、パケットロスが多い回線でも、安定したリモート接続が可能になることが予想されます。「通常回線」または「低速回線」の一方の回線の種類を選択してください。選択が完了するとリモート接続サービスが開始されます。

³ OS の種類によっては、管理者権限が必要になることがあります。

⁴ 初めて本サービスを利用する場合、回線種別の選択画面が表示されないことがあります。再度、①の手順からやり直していただけますようお願いいたします。



図 5-2 回線種別の選択画面

⑤ リモート接続の終了

図 5-3 に示すように、タスクトレイ内に「f5」のアイコンが表示されます。このアイコンより「接続の終了」をクリックすると、回線接続を切断できます。回線が切断されると図 5-4 のような画面が表示されます。

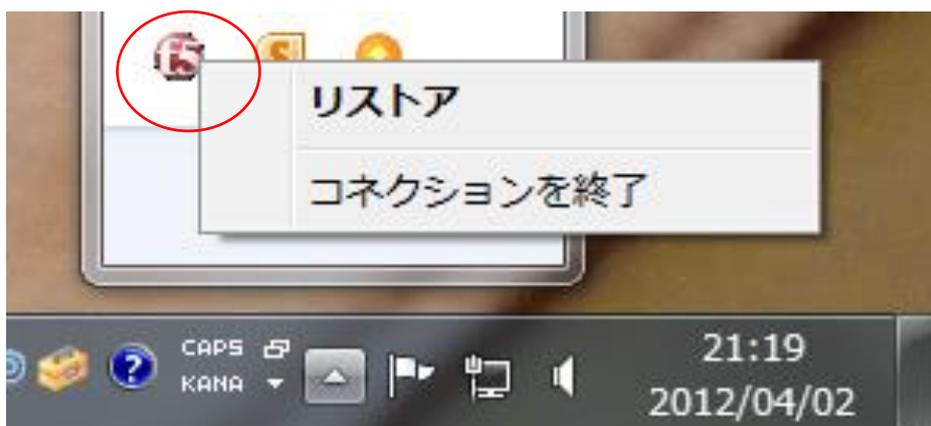


図 5-3 回線切断用アイコンの画面 (Windows の場合)



図 5-4 回線切断の完了画面

5.5 Windows 8, 8.1 RT による SSL-VPN 接続

下記に示す 1～11 の手順に従って操作してください。

- 1.画面の右端からスワイプして、設定をタップする。
- 2.右下の「PC 設定の変更」をタップする。
- 3.PC の設定の「ネットワーク」をタップする。
- 4.接続をタップし、「VPN 接続を追加する」をタップする。
5. VPN プロバイダーは「F5 VPN」を選択、
接続先に「山形大学」と入力、
サーバ名または IP アドレスに「vpn2.yz.yamagata-u.ac.jp」

と入力して、「保存」をタップする。
- 6.スタート画面に戻る。
- 7.画面の右端からスワイプして、設定をタップする。
- 8.ワイヤレス ネットワーク アイコン をタップする。
- 9.接続にある「山形大学」をタップする。
- 10.「接続」をタップする。
- 11.サインイン画面が表示されたら、
ユーザ名とパスワードには、学術情報基盤センターから配布された

ユーザ名とパスワードを入力する。
「OK」をタップする。

5.6 Macintosh による SSL-VPN 接続

① ブラウザーによる VPN 装置への接続

ブラウザを起動して、アドレスバーに <https://vpn2.yz.yamagata-u.ac.jp/> と入力し、接続してください。

② 認証情報の入力

学術情報基盤センターから配布されたアカウントのユーザ名とパスワードを入力して「ログオン」をクリックしてください。

③ 接続用ツールのダウンロードと信頼警告

リモート接続用のアドオンが自動的にダウンロードされます。このとき、様々な警告が非表示されますが、「許可する」や「信頼する」などクリックしていただくと、専用ツールが自動的に配布・インストールされます。

④ 回線種別の選択

リモート接続は、通信環境によって、安定性が変化します。特に、携帯電話など移動体通信の場合、「低速回線」を選択していただくと、パケットロスが多い回線でも、安定したリモート接続が可能になることが予想されます。「通常回線」または「低速回線」の一方の回線の種類を選択してください。選択が完了するとリモート接続サービスが開始されます。

⑤ リモート接続の終了

ブラウザを閉じるとリモート接続は切断されます。

5.7 Android による SSL-VPN 接続

1.Play ストアから、「F5 BIG-IP edge client」をインストール

2.Edge Client を起動する。

3.「Configuration」をタップする。

4.「Add Configuration」をタップする。

5.各項目を下記のように入力して、「戻るキー」をタップする。

Name : 山形大学

Server : vpn2.yz.yamagata-u.ac.jp

Web Logon : オフ

Username : (情報系センターから配布されたユーザ名)

Password : (情報系センターから配布されたパスワード)

Client certificate: (空白のままよい)

6. Setting の画面の場合、「戻るキー」をタップする.
7. 「Connect」 ボタンをタップする.
8. 注意画面が表示されたら、「このアプリケーションを信頼できるものとみなします。」にチェックを入れて、「OK」をタップする.
8. 次回以降は、Edge Client を起動して、「Connect」 ボタンをタップする.

5.8 iPad, iPhone による SSL-VPN 接続

1. App Store から、「F5 BIG-IP edge client」をインストールする.
2. Edge Client を起動する.
3. 接続先設定の○(青丸) の中に >(大なり) をタップする.
4. 「接続先の追加」をタップする.
5. 各項目を下記のように入力して、保存をタップする.

接続先名： 山形大学

サーバ： vpn2.yz.yamagata-u.ac.jp

ウェブログオン： オフ

証明書の使用： オフ

ユーザ名： (情報系センターから配布されたユーザ名)

パスワード： (情報系センターから配布されたパスワード)

6. 接続ボタンをタップする.
7. 次回以降は、Edge Client を起動して、接続ボタンをタップする.

6 外部サービスの利用説明

6.1 学認対応大学間連携グループ情報共有サービス

グループボードの後継の SharePoint Foundation サービスです。学認に対応しており学外の研究者とのグループウェアとしても利用できます。（ドキュメントは準備中です）

関連 URL: <https://adfs.yz.yamagata-u.ac.jp/>

6.2 Office365 サービスの試験利用開始

Office365 をセンターの教職員アカウントおよび教育アカウントで利用できるようにします。また、試験利用のため希望者からの申請書ベースとなっております。A3 などの受益者負担になりますが、利用できます。（ドキュメントは準備中です）

7 工学部学術情報基盤センターの利用説明

7.1 大判プリンター